**令和２年度　知的財産経営ハンズオン支援事業　応募シート**

**2020年８月21日（金）17：00までに、下記のいずれかの方法でご応募ください。**

応募方法１：事務局メールアドレス宛（chubu-ho@murc.jp）に、本シートを電子ファイル（ワード・PDF等）で提出

応募方法2：専用の応募受付サイト（<https://questant.jp/q/chubuchizai-hands-on2020>）に、応募内容を入力

応募方法３：事務局FAX（052-307-1126）に、本シートを送信

【必須事項】支援内容について

１　対象とする事業について

（ⅰ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」の「**実施状況や予定**」（該当するもの１つに〇）

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 現在実施中。 |  |
| 2. 近々実施する計画がある。 |  |
| 3. 実施について検討中。 |  |
| 4. 今後検討する予定がある。 |  |

（ⅱ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」の「**概要（現在の事業内容、将来展開のイメージ）**」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜現在の事業内容＞** |  | **＜将来展開のイメージ＞** |

２　対象とする事業の課題について

（ⅰ）「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」に関する「**課題（悩みごとや困りごと）**」

　　　※次項の（ⅱ）（ⅲ）も参考にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」と関連すると思われる課題を選択してください。

（ⅱ）テーマ別課題（該当するもの全てに〇）　　（ⅲ）知的財産の機能別課題（該当するもの全てに〇）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. ブランド戦略 |  |  | 1.価格設定を有利に進めたい |  |
| 2. デザイン戦略 |  |  | 2.他社参入(模倣品含む)を防ぎ、市場を確保したい |  |
| 3. 異分野参入、新市場開拓 |  |  | 3.自社製品を安定・継続して販売したい |  |
| 4. 販路開拓、取引の継続・拡大、 |  |  | 4.技術力の証明など信用力を向上させたい |  |
| 5. 海外展開、海外進出 |  |  | 5.新規顧客開拓につなげたい |  |
| 6. 商品開発力や研究開発力の強化 |  |  | 6.知名度向上など対外的なＰＲを図りたい |  |
| 7. 営業秘密・ノウハウ・情報の管理 |  |  | 7.技術や商品などのブランド力向上を図りたい |  |
| 8. データ利活用 |  |  | 8.融資や資金供給など資金調達を円滑にしたい |  |
| 9. 共同研究・産学連携 |  |  | 9.自社知財をライセンス貸与したい |  |
| 10. 知的財産（権）の貸し借り・売買 |  |  | 10. 他社知財をライセンス利用したい |  |
| 11. 知財紛争対策 |  |  | 11.その他**（**　　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| 12. 知的財産等の無形資産の承継 |  |
| 13. その他**（**　　　　　　　　　　　**）** |  |

３　「ハンズオン支援事業を通じて成長させたい事業」の課題解決にむけた「**専門家に希望する支援内容（※）**」

　　　※基本的に専門家の支援は「助言」の範囲内になりますこと、予めご了承ください。

　　　※事業成長に向けて複数の支援事項が想定される場合、複数を表記頂いても構いません。その場合は、支援の優先度をご記入ください。採択時には、貴社と協議の上、支援事項を決定させていただきます。

|  |
| --- |
|  |

４　課題を解決したい「**スケジュール感 又は 緊急度**」（例：１年以内に課題解決を図りたい　など）

|  |
| --- |
|  |

５　現在想定する「**採択時の体制（責任者やチームメンバー）**」や、「**経営層の関与有無**」を教えてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | はい | いいえ | その他・備考 |
| 1. 責任者は特定できていますか。 |  |  | （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 2. チームメンバーは特定できていますか。 |  |  | （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 3. 経営者や経営幹部は関与できますか。 |  |  | （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

６　Web会議の使用可否（採択後、状況に応じてWEB会議を利用する可能性があります）（該当するもの全てに○）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. Skypeを使用可能　 |  | 3. 採択後にSkypeやTeamsの利用検討が可能 |  | 5. その他のWEB会議ツールは利用可能（※↓ツール名記入）（　　 　　 　　） |  |
| 2. Teamsを使用可能 |  | 4. SkypeやTeamsは使用不可 |  |

【必須事項】貴社概要

①設立年　 　　　　　年

②従業員数 　　　　　人

③資本金　 　　　　　万円

④売上高　 　　　　　万円

⑤売上高の推移

（直近5年の売上高の推移）

|  |  |
| --- | --- |
| ↗ 増加傾向（年平均３％以上増加） |  |
| → 横ばい傾向（年平均±３％未満） |  |
| ↘ 減少傾向（年平均３％以上減少） |  |

⑥保有する知的財産権

|  |  |
| --- | --- |
| 特許権 | 　　　　件 |
| 実用新案権 | 　　　　件 |
| 意匠権 | 　　　　件 |
| 商標権 | 　　　　件 |

※未保有の場合は「0」を記入。

⑦業種　※あてはまるものに○を付けてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1次産業 | 1. 農林水産業 |  |
| 2次産業 | 2. 鉱業、建設業  |  |
| 3. 食品製造業  |  |
| 4. 繊維・パルプ・紙製造業 |  |
| 5. 医薬品製造業 |  |
| 6. 化学工業 |  |
| 7. 石油石炭・プラスチック・ゴム・窯業 |  |
| 8. 鉄鋼・非鉄金属製造業  |  |
| 9. 金属製品製造業 |  |
| 10. 機械製造業 |  |
| 11. 電気機械製造業 |  |
| 12. 輸送用機械製造業 |  |
| 13. 業務用機械器具製造業 |  |
| 14. 上記以外の2次産業 |  |
| 3次産業 | 14. 情報通信業　　 |  |
| 15. 卸売・小売等 　 |  |
| 16. サービス　 |  |
| 17. 教育　 |  |
| 18. 上記以外の3次産業 |  |

⑧貴社ホームページのURL

|  |
| --- |
|  |

【必須事項】担当者連絡先　　※内容について後日問合せをさせていただくことがございます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貴社名 |  | 記入者役職 |  |
| 記入者部署 |  | （フリガナ)記入者氏名 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 所在地 | 〒 |
| 電話 | （　　　　）　　　　－　　　　 | FAX | （　　　　）　　　　－　　　　　 |
| メール |  |

【必須事項】知的財産経営ハンズオン支援事業を知った先 (該当するもの全てに〇)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 中部経済産業局ホームページ |  | 5. 他企業からの紹介 |  |
| 2. チラシ |  | 6. 専門家からの紹介 |  |
| 3. メールマガジン |  | 7. その他**（**　　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| 4. 支援機関からの紹介 |  |  |

**―　次ページの任意事項についてもご回答ください。記入の有無が採否に影響することはありません　―**

【任意事項】知財の取得・管理について（あわせて、アンケートにもご協力ください）

問１　貴社の知財担当者数について、該当するもの１つに○を付けてください（①②については数字を記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 担当者はいない（経営者は除く） |  | 凡例1. 知財部署に所属する方。知財関連の業務が大半を占める方。
2. 知財関連の業務も担当するが、他の業務も行っている方。
 |
| 2. 担当者がいる　（経営者は除く） |  | ①専任担当者 | 人 |  |
| ②兼任担当者 | 人 |  |

問２　知的財産に対する、経営層の意識について、あてはまるものに○を付けてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 知的財産の創出・活用に関与している |  |
| 2. 知的財産を創出・活用する意識はある |  |
| 3. 知的財産の創出・活用への関心は低い |  |

問３　経営における知的財産の位置づけについて、あてはまるもの全てに○を付けてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 経営戦略・事業戦略にて位置づけ・言及がある |  |
| 2. 技術開発戦略にて位置づけ・言及がある |  |
| 3. 知財に関する戦略、計画を別途準備している |  |
| 4. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| 5. 特に位置づけはない |  |

問４　貴社で実施されている「知的財産を創出する取組」として、該当するもの全てに○を付けてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 出願数等の数値目標の設定 |  | 6. 発明・創造に関する報告・発表会の開催 |  |
| 2. 知的財産の創出に対する表彰制度 |  | 7. Off-JT（社外セミナー参加等）での発明・創造スキルに関する教育の実施 |  |
| 3. 知的財産の創出に対する報酬制度 |  |
| 4. 社外資源も活用した発明・創造活動（共同研究開発・ロゴ作成の外部委託等） |  | 8. その他**（**　　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| 5. 発明提案書等の書式の整備 |  | 9. 特に行っていない |  |

問５　貴社で導入されている「知的財産権の管理体制等」について、あてはまるもの全てに○を付けてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 他社からの侵害管理 |  | 6. 保有知財の事業との整合を確認するメンテナンスを適宜実施 |  |
| 2. 他社権利の調査・先行技術の調査 |  |
| 3. 知財の帰属に関する規定(職務発明規定) |  | 7. 権利の貸与・相互利用時のライセンス契約 |  |
| 4. 自社の営業秘密やノウハウの管理規定 |  | 8. その他**（**　　　　　　　　　　　　　　　　**）** |  |
| 5. 他社との共同事業における秘密保持協定 |  | 9. 規定は特にない |  |

問６　貴社で活用の経験がある、「知的財産に関する外部の専門家（知財専門家）」について、

該当するもの全てに○を記入してください。（過去5年間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 弁理士（自社で雇用） |  | 8.デザイン専門家 |  |
| 2. 弁理士（社外を活用） |  | 9.海外展開専門家 |  |
| 3. 弁護士 |  | 10.金融専門家（金融機関） |  |
| 4. 中小企業診断士 |  | 11.知財総合支援窓口（支援担当者） |  |
| 5. 経営コンサルタント |  | 12.公的研究機関（公設試等） |  |
| 6. 技術コンサル（技術士等） |  | 13.その他**（　 　　　　　　　　　　）** |  |
| 7. ブランド専門家 |  | 14.専門家の活用は行っていない |  |

4